

2021年8月23日
株式会社オンワードホールディングス
経営企画 Div.広報 Sec.

【オンワード×国際ファッション専門職大学による産学連携プロジェクト】
デジタル人材育成のための、ビジネスアイデアコンテスト決勝大会を開催
最優秀賞はゲーム感覚の EC サイト「01 PROJECT」に決定
～アパレル業界の課題を4カ月かけて思考した学生上位7チームが解決策を発表～

株式会社オンワードホールディングス（本社:東京都中央区 代表取締役社長：保元 道宣）は、2021年4月より国際ファッション専門職大学（東京・大阪・名古屋キャンパス 学長：近藤 誠一）と産学連携で、今後のデジタル社会に対応したプロフェッショナル人材を育成し、産業界へ送り出すことを目的とした、『ONWARD 未来人材プロジェクト』を開始しています。

この度、本プロジェクトのプログラムとして、ファッション企業が抱える実際のデジタル戦略上の課題に対し学生チームが企画提案を行う、『オンワードベンチャーアワード（ONWARD VENTURE AWARD）』の決勝大会を7月16日（金）に開催いたしました。

学科の枠を超え編成された全20チームの中から選考を勝ち抜いた7チームが参加した決勝大会は、経済産業省、国際ファッション専門職大学、そして当社がそれぞれ選出した10名の審査員に対し、オンライン方式で各企画をプレゼンテーションした結果、最優秀賞は「東京8チーム」による、「革新と確信を届ける」をテーマにしたゲーム感覚の EC サイトのビジネスアイデア「01 PROJECT」に決定いたしました。

本ビジネスアイデアは、スマホを使う時間が1日5時間以上であるデジタルネイティブ世代をターゲットに、ゲーム感覚で隙間時間についつい開いてしまう EC サイトがコンセプトになっています。学生が等身大で自分が使いたいと感じることを重視しており、また EC サイトに対して「商品の確認ができない」「持っている服と合わない」「イメージと実物が異なる」「画像だと分かりにくい」といった悩みがあることを調査で洗い出し、その課題解決に取り組んでいる点が評価され、最優秀賞に選ばれました。

■コンテスト結果

賞名	チーム名	企画名	概要
最優秀賞	東京8チーム	01 PROJECT	「革新と確信を届ける」、ゲーミフィケーション要素を取り入れた新しい形の EC サイト
優秀賞	名古屋3チーム	デジタルアートミュージアム —Zコレクション—DIAMz—	Z世代の価値観と廃棄服問題の解決を掛け合わせたデジタル上のアートミュージアム
優秀賞	東京4チーム	Imaginary を Reality に	なりたい自分になれる AI を使ったプラットフォーム型 EC アプリ開発



▲最優秀賞「東京8チーム」プレゼンの様子①



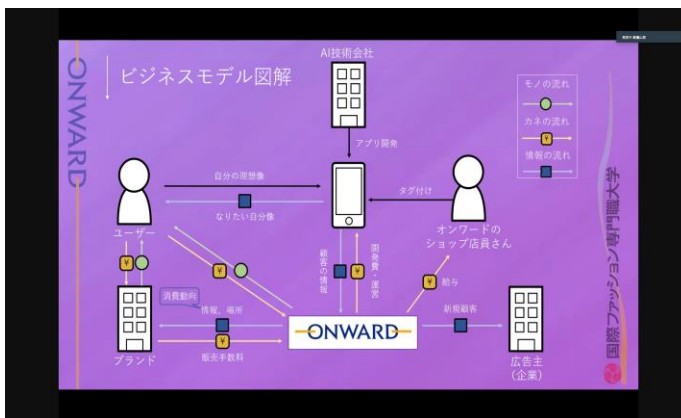
▲最優秀賞「東京8チーム」プレゼンの様子②



▲優秀賞「名古屋3チーム」プレゼンの様子①



▲優秀賞「名古屋3チーム」プレゼンの様子②



▲優秀賞「東京4チーム」プレゼンの様子



▲優秀賞「東京4チーム」集合写真

■最優秀賞受賞 東京8チーム リーダー 阿部美咲様コメント

人のためになること、人が欲しているものを把握するのは難しく、調査・分析・企画の繰り返しだったのですが、若者である自分自身をペルソナに置き換え、楽しくて便利なものを第一に考えました。その中で私たちの企画が、学生目線ではなく一企業として評価していただけたことが大変嬉しかったです。

■審査員 経済産業省 製造産業局 生活製品課 課長補佐 山岸航様コメント

今回のプレゼンテーションを聞いて、レベルの高さと熱意の強さがひしひしと伝わってきました。今、世の中の経済社会が変化していく中で、コロナという問題が、世界中の人々の様々な消費行動の意味付けをしています。それは、ファッションだけでなく、我々のライフスタイル、生活全般に広がってきています。本日のプレゼンテーションは、ファッションやアパレル、繊維業だけにとどまらない広い視点で、学生の皆さんが世の中

を捉えているということを改めて感じ、大変勉強になりました。

経済産業省においても、ライフスタイル領域で何か新しいビジネスを提案している企業を応援しています。また、政府としても、サステナビリティや SDGs などの世界全体の課題に取り組む業界を応援するためのチャレンジをしています。

最近、繊維産業においてサステナビリティをどう広げていったら良いかを協議した報告書を発表しました。

本日の内容は報告書と合致している部分も多く、現代の課題点を、学生の皆さんが先取りして捉えているということに本日は感服いたしました。

■審査員 国際ファッション専門職大学 学長 近藤誠一様コメント

素晴らしい。特に私として嬉しかったのは、学生たちが真剣に社会のトレンドを見ていること。取り分け明日を作っていく若い世代がどういった方向に進んでいるかをしっかりと調査されたこと。それから、今後デジタルや AI の活用が進んでいく中で、それをどんな風に有効にビジネスに活用するかを考えたことです。

そして、もう1つは、我々が気候変動や感染症など大変な危機に直面しているといった社会課題をしっかりと把握し、それに対し、Z世代である自らが、何が出来るかを真剣に研究し、ディスカッションを積み重ねたことです。

またコロナ禍で、長い間オンライン授業が中心になるなどさまざまな制約に苦しみの中で、今回の大会に向けて数名のチームでとことん調査し、議論し、3か月間夢中になって1つのものを作り上げていくことに注力することで見事なチームワークが醸成できたことは大変貴重な経験だと思います。

最後に、国際ファッション専門職大学は、ビジネスに役立つ、国際性、コミュニケーション能力が高い総合力のある人材を育てること、そして社会課題に常に意識を持つ人材を育成することを目的としています。

今回のプロジェクトを通じて、まさにその目的を学生も共有してくれていると感じ、大学を作ってよかった、学長になって幸せだと感じる事ができました。

■審査員 株式会社オンワードホールディングス 代表取締役社長 保元 道宣コメント

大変レベルの高い企画・プレゼンテーションで、『ONWARD みらい人財プロジェクト』が本当に良いスタートを切れたと感じ、嬉しかったです。

各チームとも、Z世代の目線で考えられた素直な提案が大変魅力的でした。

また、環境問題というファッション業界がしっかりと取り組まねばならないテーマについても、真正面から取り組んでいただきました。入賞された「名古屋3チーム」の“伝統工芸とZ世代をブリッジさせる”という発想は、日本にとっても意味のあるものだと感じました。今回いただいた知恵を、当社でどのように活かしていくべきか真剣に考えていきたいと思えます。

さまざまな情報や話を聞くことができ、経営上も大変参考になりました。

秋以降のインターンシップについても楽しみにしています。

■プロジェクト開催背景

経済産業省が2019年4月に公表した「IT人材需給に関する調査」^{*1}によれば、IT需要が今後拡大する一方で、国内の労働人口は減少が見込まれ、IT人材の需要と供給の差は、需要が供給を上回り、2030年には、最大で約45万人に拡大する可能性がある試算されています。

アパレル業界においても、新たな先端技術へ対応し、デジタルトランスフォーメーション（DX）を進めていくことができる人材の育成が急務であり、デジタル思考を持ち、グローバルに活躍できるプロフェッショナル人材を育成すること

を目的に本プロジェクトの開始に至りました。

*1 経済産業省 IT 人材需給に関する調査(2019年4月)

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/gaiyou.pdf

■ ONWARD VENTURE AWARD 決勝大会 概要

日時	2021年7月16日(金) 10:00~13:00
開催形式	オンラインによるプレゼンテーション方式
学生参加人数	1チーム6~7名編成全20チームより選出された7チーム
審査員	経済産業省 製造産業局 生活製品課 課長補佐(総括) 山岸航氏 国際ファッション専門職大学学長 近藤 誠一氏 国際ファッション専門職大学担当理事 後藤 京子氏 国際ファッション専門職大学学部長 永澤 陽一氏 株式会社オンワードホールディングス 代表取締役社長 保元 道宣 株式会社オンワードホールディングス 人財 Div. 課長代理 柳川 純一 株式会社オンワードパーソナルスタイル 代表取締役社長 関口 猛 株式会社オンワードデジタルラボ 取締役副社長 西森 浩文 株式会社オンワードデジタルラボ 取締役部長 高橋 純 株式会社オンワードデジタルラボ リーダー 高柳 和典
テーマ	近未来のマーケットをデザインしよう!

■『ONWARD 未来人財プロジェクト』概要

本プロジェクトは、4ヶ月間のオンワードベンチャーアワード (ONWARD VENTURE AWARD) と、オンワードビジネスインターンシップ (ONWARD BUSINESS INTERNSHIP) の2つのプログラムから構成されます。

【I期：オンワードベンチャーアワード (ONWARD VENTURE AWARD)】

当社グループのデジタル戦略を担う株式会社オンワードデジタルラボが抱える実際の課題に学生チームで取り組み、企画提案を行う、高度な課題解決型授業です。学科の枠を超えて1チーム6~7名の編成を行い、当社の担当者からフィードバックを受けながら企画・立案作業を進めていきます。そして企画書をもとに、全20チームの中から7チームを選出し、プレゼンにより優秀チームを表章します。

※期間：2021年4月~7月、学生約120名が受講

【II期：オンワードビジネスインターンシップ (ONWARD BUSINESS INTERNSHIP)】

本プロジェクトにおけるインターンシップは、従来型の企業側主導のものとは異なり、大学側主導で企業におけるプログラムを作成し、運営を行います。配属先は、当社グループ企業の「デジタルマーケティング」「ECブランド開発・コミュニケーション開発」「D2C カスタマイズビジネス」の各部門を予定しています。このプログラムを終了すると学生は所定の単位を取得可能です。I期(前期)に企業の課題を深く考える経験を経てからインターンに参加することで、従来のインターンシップに比べより充実した社会経験を積むことができます。

※期間：2021年10月~2022年1月、選考された学生10数名が参加予定

■国際ファッション専門職大学概要

55年ぶりに国がつくった新しい大学制度である「専門職大学」として2019年4月に開学した、日本で唯一の「ファッション」「ビジネス」の専門職大学です。これからのファッションと、そのビジネスを見据えて、世界トップブランドや企業との教育連携から、日本が世界に誇る繊維産地との連携まで、今までの教育機関にはない職業に直結した教育環境で、卒業時には国際通用性のある学位として国が認めた専門職の「学士」を取得することができます。

学長：近藤 誠一（元文化庁長官）

所在地：

[東京キャンパス] 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-7-3 総合校舎コクーンタワー

[大阪キャンパス] 〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-2 総合校舎

[名古屋キャンパス] 〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-27-1 総合校舎スパイラルタワーズ

設立：2019年（平成31年）開学

学部・学科：国際ファッション学部

[東京キャンパス]ファッションクリエイション学科/ファッションビジネス学科

[大阪キャンパス]大阪ファッションクリエイション・ビジネス学科

[名古屋キャンパス]名古屋ファッションクリエイション・ビジネス学科

URL：<https://www.piif.ac.jp>

■株式会社オンワードホールディングス概要

1927年に榎山純三が大阪で榎山商店として創業。88年に社名をオンワード榎山に変更。2007年に純粋持株会社オンワードホールディングスを設立。中核事業会社のオンワード榎山は「23区」「五大陸」などを展開。17年10月にはオーダーメイド業態の「KASHIYAMA(カシヤマ)」をスタート。2019年に株式会社オンワードデジタルラボを設立。デジタル関連を主な事業内容とし、21年3月にはD2Cプラットフォーム事業「ONWARD Design Diversity（オンワード・デザイン・ダイバーシティ）」をスタート。

代表者：代表取締役社長 保元 道宣

所在地：〒103-8239 東京都中央区日本橋3丁目10番5号オンワードパークビルディング

設立：1947年(昭和22年)9月4日

事業内容：純粋持株会社としての、アパレル関連事業、ライフスタイル関連事業を営む傘下関係会社の経営管理およびそれに付随する業務

URL：<https://www.onward-hd.co.jp/>

■このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いいたします

(株)オンワードホールディングス 広報担当 飯野

TEL：03-4512-1070 E-mail：nhn-kouhou@onward.co.jp